

番号：YCTIM 1232

ページ：1～8

Complementary Therapies in Medicine (2013) 21, 460-467

寛解期のがん患者におけるアガリクス・ブラゼイ・ムリル茸抽出物摂取後の生活の質 (QOL) 改善

Q1 大野智^{a,b,*}、住吉義光^{c,d}、橋根勝義^d、白戸玲臣^d、京哲^b、井上正樹^b

Q2 a 早稲田大学先端科学・健康医療融合研究機構

b 金沢大学、産婦人科

c 玄々堂木更津クリニック泌尿器科

d 四国がんセンター泌尿器科

キーワード

アガリクス・ブラゼイ・ムリル、QOL、SF-8、癌生存者、臨床試験

抄録

目的：予備的な本臨床試験の目的は、アガリクス・ブラゼイ・ムリル (ABM) 顆粒粉末 (株式会社S・S・I、日本、東京) を治療後のがん患者に6ヵ月間連日摂取させたときの生活の質 (QOL) 改善を評価することであった。

試験デザイン：オープン試験

試験方法：被験者は、1包/日 (1.8 g、23例)、2包/日 (3.6 g、22例)、3包/日 (5.4 g、22例) を連日6ヵ月間経口摂取した。

主要評価項目：QOLを評価するためSF-8健康調査票が用いられた。SF-8スコアは、臨床試験組入れ時のベースラインスコアとABM摂取6ヵ月後のスコアとの差を評価した。

結果：SF-8評価によるQOLの統計学的有意な改善が、身体的健康度と精神的健康度の両面で認められた。より具体的には、ABMのQOL改善効果として、性別では男性で身体的健康度の改善が認められ、女性で精神的健康度の改善が認められた。年齢別による解析では、65歳以下で精神的健康度の改善が認められ、66歳以上で身体的健康度の改善が認められた。さらに、ABMのQOL改善効果における至適摂取量については、2包/日を6ヵ月間摂取することにより身体的健康度の改善ならびに精神的健康度の改善が示された。

結論：今回の縦断的臨床予備試験によって、ABMは、連日摂取することにより身体的健康度および精神的健康度の両面を向上させることがSF-8質的計量分析に基づいて立証された。

©エルゼビア・ジャパン株式会社により2013年に出版された。

*責任著者連絡先：〒162-0041 東京都新宿区早稲田鶴巻町 513、早稲田大学先端科学・健康医療融合研究機構 (ASMeW) TEL：+81 3 5272 1206 fax: +81 3 5272 1208

E-mail: satoshi.ohno55@gmail.com (S.Ohno)

0965-2299/S — 前付き参照 ©2013年 Elsevier Ltd出版

<http://ox.org/10.1016/j.ctm.2013.07.001>